

令和4年度

学校自己点検・評価報告書

令和5年2月

筑波研究学園専門学校  
自己点検・評価委員会

## ■「学校関係者評価委員会」について

筑波研究学園専門学校は、「工業分野」「商業実務分野」「教育・社会福祉分野」の3つの専門課程の認可を受け、専門的知識と技術とともに、高い教養を有する人間性豊かな人材を育成し、地域社会の発展と文化の向上に寄与することを目的として運営しております。

平成19年12月に学校教育法が改正され、4年制大学や短期大学と並んで専門学校においても学校評価制度が義務付けられました。本校では、平成18年度に「自己点検・評価委員会規程」を制定し、平成19年度より「自己点検・評価」を実施してきました。

また平成26年度からは文部科学省の「職業実践専門課程の認定」を受けたことを踏まえ、一層「学校運営の適正化」と「教育内容の充実」を図るため、「学校関係者評価委員会」を活用しています。

## ■令和4年度 学校自己点検・評価について

1. 対象期間 令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

### 2. 実施方法

(1) 実施組織：学校自己点検・評価委員会

○委員長 野口 孝之 筑波研究学園専門学校 学校長  
委員 大森 淳子 筑波研究学園専門学校 副校長  
水越 武 筑波研究学園専門学校 ITものづくり学科長  
齋田 光幸 筑波研究学園専門学校 自動車整備工学科長  
原 智樹 筑波研究学園専門学校 建築環境学科長  
宮本 晃太 筑波研究学園専門学校 医療情報学科長  
秋葉 純 筑波研究学園専門学校 こども未来学科長  
日下部俊博 筑波研究学園専門学校 総務部 部長  
岡田 地余 筑波研究学園専門学校 教務部 副部長  
杉山由紀夫 筑波研究学園専門学校 入学・学生支援部 副部長

(2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠しています。

(3) 評価方法：授業アンケート、教員自己点検・評価、各学科及び部門の自己点検・評価をもとに、自己点検・評価委員会を開催し、学校自己点検・評価を取りまとめています。

### 3. 評価項目

- |             |                |
|-------------|----------------|
| (1) 教育理念・目標 | (6) 教育環境       |
| (2) 学校運営    | (7) 学生の受け入れ募集  |
| (3) 教育活動    | (8) 財務         |
| (4) 学修成果    | (9) 法令等の遵守     |
| (5) 学生支援    | (10) 社会貢献・地域貢献 |

### 4. 評価項目に対する評価

各項目について、次の4段階を基準とし、点数を0.1刻みで評価しています。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

## 5. 校訓、教育目標、教育方針

### ◎経営理念

「開かれた高等教育機関」の実現

### ◎教育理念

「産学官民」協同による教育

### ◎校 訓

自 主：自分で考え判断し、自らの意志と責任によって行動する

協 調：相手の立場を尊重し、互いに助け励まし合う

創 造：自らの創意と努力によって、新しい道を切り拓く

### ◎教育目標

- ・型にはめない教育を実践し、個性を最大限に伸長する
- ・基礎学力と専門技術の調和のある学習を通して、有為な人材を育成する
- ・新たな世界へ挑戦する不屈の精神を涵養する

## 6. 令和4年度の取組み項目

### 1. 教育理念・目標

- ・定期的な学科・コース等の再編等の検討

### 2. 学校運営

- ・教務等に関する機能の強化
- ・情報システム化等による業務の効率化

### 3. 教育活動

- ・産学連携体制の定着
- ・授業評価体制の整備と実施（内部・外部・アンケート）
- ・資格取得等の指導体制、カリキュラムの見直し
- ・先端的な知識・技能等を修得する取組み
- ・指導力育成、能力開発などの資質向上を目指す研修の実施

### 4. 学修成果

- ・進路決定率・専門分野決定率の向上
- ・資格取得率の向上
- ・卒業生・在校生の活躍状況の把握

### 5. 学生支援

- ・進路・就職に関する支援体制の整備
- ・保護者との適切な連携（保護者会との連携）
- ・高専連携によるキャリア教育・職業教育の実施

### 6. 教育環境

- ・危機管理規程及びマニュアルに基づく避難訓練の実施

### 7. 学生の受け入れ募集

- ・募集活動での教育成果を正確に伝える取組み

## 1. 教育理念・目標

No	設問	R3 評価	評価点
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0	4.0
2	専門分野における職業教育の特性は明確か	4.0	4.0
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.9	4.0
4	学校の理念・目的・育成人材像・職業教育の特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4.0	4.0
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.9	3.9

### 【 状況・課題 】

- ・経営理念、教育理念、校訓、各学科の育成人材像は明確に定められているが、全教職員が理解を深め、教育活動を進めていくことが肝要である。
- ・五箇年計画に基づき、定期的に各部・各学科の進捗及び状況・課題を確認し改善を図っている。また、DX化が進む社会変化への対応を見据えた令和6年度以降の学科・コースの再編を検討している。

### 【 改善方策 】

- ・校訓について、教員が理解を深め、教育活動に落とし込みながら学生への周知を図り、人間教育につなげていく。
- ・業界のニーズに対応できる学科・コースの再編等を継続して検討する。

### 【 特記事項 】

- ・本校では、実学重視の教育を実践しており、関連機関との教育連携を図り、専門分野の業界や企業等での現場実習を通して学生が実社会に直接触れて学ぶことを大切にしている。

## 2. 学校運営

No	設問	R3 評価	評価点
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4.0	4.0
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4.0	4.0
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.9	3.9
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4.0	4.0
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.5	3.7
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.8	3.8
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.9	3.9
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.8	3.9

### 【 状況・課題 】

- ・教務等に関する機能強化のため関連規程の見直しと整備を進めている。
- ・Web出願、証明書等のWeb申請、学生・保護者への連絡システム(Webポータル)等、各部門のシステム化は進んでいるが、システム同士の連携等を踏まえた整備が必要である。

### 【 改善方策 】

- ・各部門のシステムを連携させ、一元管理による情報共有、業務の効率化が図れる整備計画を他校の導入事例を含め検討し計画的に進める。

### 【 特記事項 】

- ・学校法人・学校の将来構想、中長期的な計画に基づいた運営方針や事業計画「五箇年計画」が策定されている。

### 3. 教育活動

No	設問	R3 評価	評価点
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8	3.8
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7	3.7
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8	3.8
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.8	3.8
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.7	3.8
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.8	3.8
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.5	3.6
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.8	3.8
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0	4.0
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.8	3.8
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.7	3.7
12	業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.8	3.8
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための取り組みが行われているか	3.4	3.5
14	教職員の指導力育成や能力開発など資質向上を目指した研修等が行われているか	3.5	3.7

#### 【 状況・課題 】

- ・本校の特色である産学連携を重視した教育課程、カリキュラムを編成し適宜見直しを行っている。また、各学科では「専門分野におけるDX」授業の導入計画を進めている。
- ・授業評価体制の改善として、授業アンケートの回答・集計の自動化、研究授業・ディスカッションによる課題改善を試みた。外部委員への授業公開は卒業研究発表会のみ実施した。
- ・学科別研修として業界団体等と連携した研修会を実施したほか、指導力育成や能力開発を目的とするeラーニングによる自己研修が行われている。

#### 【 改善方策 】

- ・DX授業については教育課程編成委員会で意見聴取を行うほか、業界の動向等を踏まえた授業カリキュラムを構築し、令和5年度より導入する。
- ・授業アンケート結果は個人の授業改善のみならず、学科・学校の改善に繋がるよう活用する。アンケート内容はオンライン授業等、昨今の授業方法の変化を踏まえ見直しを行う。
- ・卒業生及び就職先アンケートの分析を行い、教育課程やカリキュラム、授業内容の改善に活かす。

#### 【 特記事項 】

- ・産学連携による臨地実習（企業、医療機関、保育・教育機関等）や連携授業は全学科で整備され、都度、連携先からの意見や評価を取り入れカリキュラムの見直しを行っている。

#### 4. 学修成果

No	設問	R3 評価	評価点
1	就職率の向上が図られているか	3.9	3.9
2	資格取得率の向上が図られているか	3.6	3.6
3	退学率の低減が図られているか	3.6	3.6
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.5	3.6
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3.5	3.6

##### 【 状況・課題 】

- ・就職率はほぼ100%を維持している。
- ・卒業生及び就職先を対象にアンケートを実施し、連携先企業や内定先企業等から卒業生の活躍状況の把握に務めた。
- ・資格取得に向け習熟度別授業等、指導体制の見直しを行い、資格取得率は改善傾向にあるが、より一層の取り組みが望まれる。

##### 【 改善方策 】

- ・アンケート結果は更に分析を行い、今後の教育活動に繋がるよう活用する。各学科の特徴、改善すべき点を明確にし、カリキュラム変更等も検討する。
- ・学科での就職指導に加え、キャリア支援センター主催のガイダンスで学生支援を実施していく。
- ・到達度見える化を行い、学生個々の状況・課題克服につながる指導を行う。

##### 【 特記事項 】

- ・特別奨励金等、頑張っている学生を応援する仕組みを整備している。

## 5. 学生支援

No	設問	R3 評価	評価点
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7	3.9
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.6	3.7
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.9	3.9
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.6	3.6
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.6	3.6
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3.6	3.6
7	保護者と適切に連携しているか	3.6	3.7
8	卒業生への支援体制はあるか	3.6	3.7
9	社会のニーズ（社会人受入）を踏まえた教育環境が整備されているか	3.7	3.7
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.6	3.7

### 【 状況・課題 】

- ・9月にキャリア支援センターを設置し、教職員に対するキャリア教育研修や学生向けセミナーを定期的  
に開催している。学生ひとり一人が自らの将来（就職先）を考えて行動できるサポート体制の構築が必  
要である。
- ・学生向けのセミナーを開催し、進路が明確でない一人ひとりに対する相談支援を行った。

### 【 改善方策 】

- ・学科での就職指導に加え、キャリア支援センター主催のガイダンスで学生支援を行うことで入学から卒  
業までのキャリア教育の充実を図る。

### 【 特記事項 】

- ・保健室の設置、学校医（かかりつけ医）の専任、学生健康診断の実施等、専門学校設置基準に沿って学  
生の健康管理を行っている。
- ・「5ヵ年計画」に基づき、学校施設の大規模修繕と同時に環境整備を進めている。
- ・これまでの「一人暮らし応援サポート」に加え、遠方からの学生には支援金の導入を予定している。
- ・保護者会と連携した学生の支援にあたっている。



## 6. 教育環境

No	設問	R3 評価	評価点
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.5	3.6
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.7	3.7
3	防災に対する体制は整備されているか	3.7	3.8

### 【 状況・課題 】

- ・コロナ禍の中、オンライン授業体制への整備を進め必要教室でのICT環境は整えているが、今後はこれらの環境を活かした教材の充実が必要となる。
- ・危機管理規程等の整備に伴い施設・設備等の整備も進んでいるが、十分とは言えない。

### 【 改善方策 】

- ・ICT環境を活かしたオンライン配信動画の作成やパワーポイント教材の充実等、教材研究を進め教育環境の充実を図る。
- ・防災ヘルメットや備蓄品など、災害に備える物品の充実をさらに図っていく。

### 【 特記事項 】

- ・令和6年度に向け、学生のPC持ち込み等も視野に入れた整備計画を検討している。

## 7. 学生の受け入れ募集

No	設問	R3 評価	評価点
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4.0	4.0
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8	3.7
3	学納金は妥当なものとなっているか	4.0	4.0

### 【 状況・課題 】

- ・SNSによる情報発信やオープンキャンパスやガイダンスでのPR方法等が学科ごとに差があるため、運用方法などの整備を行う。

### 【 改善方策 】

- ・学校のPR動画やパワーポイントによるICTツールを活用し、オープンキャンパスやガイダンス等において教育成果を伝える仕組みを構築する。
- ・在校生や卒業生の体験談等、各学科のイメージを視覚化して伝えられるよう取り組んでいく。

### 【 特記事項 】

- ・Web出願システムとデジタルマーケティングを導入した。

## 8. 財務

No	設問	R3 評価	評価点
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.2	3.4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.0	4.0
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3.6	4.0
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0	4.0

### 【 特記事項 】

- ・ 予算・収支計画の有効性・妥当性への具体的取組として経営五箇年計画に基づき積算根拠を明確にした予算を策定し、常勤理事会で月次の管理を実施している。

## 9. 法令等の遵守

No	設問	R3 評価	評価点
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0	4.0
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0	4.0
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.8	3.8
4	自己評価結果を公開しているか	4.0	4.0

### 【 特記事項 】

- ・ 法令及び個人情報管理規程に則り、学内情報の管理を徹底している。

## 10. 社会貢献・地域貢献

No	設問	R3 評価	評価点
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.9	3.9
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.5	3.5
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4.0	4.0

### 【 状況・課題 】

- ・ここ数年のコロナ禍によりボランティア活動の場が減ったが、今年度はやや回復してきた。しかしながら活動を行っている学科に偏りがみられる。

### 【 改善方策 】

- ・全学科でボランティア活動に参加できるよう、奨励、支援体制を整備する。
- ・地域の子どもたちを対象としたイベントを検討している。

### 【 特記事項 】

- ・霞ヶ浦マラソンをはじめ地域行事等が再開催され、こども未来学科学生ボランティアが積極的に参加した。